



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012 年度 広島北ロータリークラブ週報

2012年5月31日発行 Vol. 1313

国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー氏
国際ロータリーテーマ
こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
Reach Within to Embrace Humanity

■会長 高原 宏之 ■幹事 栗屋 充博
事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
TEL 082-506-0050 FAX 082-506-2530
E-Mail hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/
例会場 ホテルグランヴィア広島 広島市南区松原町 1-5

■本日の例会 2012年5月31日(木) 第2088回
ロータリーソング 「それこそロータリー」
来客紹介 ロータリー家族親睦委員会
会長時間
幹事報告
委員会報告
ニコニコ箱
卓話時間 『お互いをもっと詳しく知ろう』
迫 慎二 会員
深川 泰志 会員
中根 弘幸 会員

会長時間 会長 高原 宏之

本日は、広島県知事湯崎英彦様を当クラブにお迎えしています。ようこそ当クラブにお越し頂きました。厚く御礼申し上げます。広島県の広報誌「ひろしま県民だより」の平成23年10月号に「健康への過信はSTOP！/がん検診へGO！」の記載があります。がんは怖い病で、広島県では昭和54年から永年死因の第一位を占めています。平成19年の広島県のデータでは30%を占め、年間8000人ががんで命を落とされています。数多い成人病のうちでは、それらに次ぐ疾患として、心疾患、脳神経疾患が続いています。日常の生活習慣と、運動の見直しは大切で、それらの病の予防になることは言うまでもありません。そこで、永年死因第1位のがんについて罹患状況を部位別に観ますと、男性では「胃がん」が最も多く、次いで肺がん、大腸がん、前立腺がん、の順となっています。女性では、乳がんが最も多く、次いで大腸(直腸、結腸)がん、胃がん、肺がんの、順になっています。厚生省班研究の推計によりますと、生涯のうちにがんを罹患する可能性は、男性では、二人に一人、女性では、三人に一人とされています。然し乍ら、医療技術と診断及び治療の目覚ましい進歩と発展により、健診などで早期に発見された際には、殆どが治り、もしくは、軽い治療で済むような時代になりました。このように考えてみますと、症状がないまま進行するがんを早期に発見するには、定期的ながん検診を受けることの重要性が再認識されています。会員の皆様も機会を逃がさず、大切な健診を受けて頂きたいと思っています。

前回例会報告 2012年5月24日(木) 第2087回

ロータリーソング 「われら広島北ロータリー」
来客紹介 ロータリー家族親睦委員会
連続出席表彰
会長時間
幹事報告
委員会報告
ニコニコ箱
卓話時間 『平成24年度広島県予算について』
広島県知事 湯崎 英彦 氏

ロータリー財寄付認証披露



マルチプル
ポールハリスフェロー
福田 拓造 会員

幹事時間 幹事 栗屋 充博

◇本日、午後5時より「かき船かなわ」において新現引継クラブ協議会を開催します。

委員会報告

次年度幹事 山内会員
5月24日(木) 場所:かき船かなわ
15時～ 被選理事会
16時～ 第2回被選クラブ協議会
17時～ 新現引継クラブ協議会

連続出席表彰



11年 久保雅史会員



ニコニコ箱

ニコニコ委員会

【自主出宝】
高原会員・大之木会員・栗屋会員・岡部会員・合田会員
湯崎知事、本日はお忙しい中、当クラブにお越し頂きありがとうございます。後ほどの卓話を楽しみにしています。
菅員◇ 知事様には大変お忙しい中ご来臨下さり、ありがとうございます。本日のお話楽しみにしております。
山本(忠)会員 湯崎知事さん今日のお話を楽しみにしています。

毎日元気に頑張ってください。

久保田会員 水野先生、広島県公安委員長の重責を完うされ、後任も決まりました。御苦労さまでした。今後も広島県民のために湯崎知事とともにご尽力ください。

島田会員 RCCのテレビ番組の「ゴルフの花道」という番組で広島佐伯カントリー倶楽部が放映されることになりました。6月10日から4回にわたり日曜朝6時15分からの予定です。是非ご覧ください。

久保田会員 栗屋さん19日の新聞紙上で今年夏の電力事情を心配しておられました。私も同感です。

山坂会員 25日に鉄ぱん屋弁兵衛 八木店をオープンします。よろしくお祈りします。

杉町会員 皆様のお力添えにより「パティスリー京香」も6周年を迎える事が出来ました。これからもご指導の程宜しくお祈り致します。

島田会員 ニコニコ委員長をさせて頂いていますが、今回初めてメール出宝を致しました。予め準備できるし会費徴収で便利です。ホームページからの操作も簡単でした。皆様も是非ご利用下さい。

中尾会員 所用により早退させていただきます。大変申し訳ありません。

当日計 15,000 円(内、web9,000 円) 累計 1,169,100 円

★=10,000 円 ☆=5,000 円 ◆=3,000 円 ◇=2,000 円

卓話

『平成24年度広島県予算について』

広島県知事 湯崎 英彦 氏



今日は平成24年度の当初予算についてお話をしたいと思います。冒頭に申し上げたいのが、平成24年度予算の中で、4つの政策分野における新規重点事業等125億9000万円です。前年度比で25億ほど増えてます。就任後に新規の重点事業を125億分始めましたが、実は就任前に三週間ほど、県庁で予算などいろいろ説明してくれました。で、予算で新しいことができるのは大体5億円くらいだと。広島県の予算は約1兆円あります。そんなことはないだろうと言ったら、10億円くらいは何とかあります、と。それはあり得ないと言って、予算の再編成を主張しました。新年度予算はもう議論が始まっていて、12月はほぼまとめですが、12月に事業仕訳をして、結果初年度予算は45億円ほど新規事業につけました。10億と言っていたのが、45億出てくる。しかも事業仕訳の結果は反映せずにです。で、2年目の予算で100億3700万、今年度の予算で125億9000万ということで、5億と言われたものが、ちゃんとやれば125億になりました。

全体的な予算の話ですが、「県債残高の縮減」があります。実質的な県債残高1兆4552億円、要するに借金ですが、就任前より1000億減らしました。よく借金を増やすと議論されるのですが、この3回の予算編成で減らしました。このように財政の健全化にもかなり力を入れています。

県債発行額は前年度より4億円マイナスですが、臨時財政対策債というものをしています。実はこれは、国が地方に借金をしているお金です。国は国税を取って、地方交付税として分配し、それをベースに色々な業務を地方公共団体に義務づけています。

しかし、分配するお金が足りず、国が自治体に債権を発行させています。これが今増えていまして、全体としては県の債権が増えているように見えますが、実はこれは国の隠れ借金なので、この点だけはどうかご理解ください。

今私が進めている非常に重要な変化の中に、「予算主義から成果主義への転換」があります。これは私が就任し最初に訓示をし

たときに言った、県民視点、現場主義、そしてもう一つです。

これは何かというと、県も自治体も年度の中で一番注目されるのは予算を作った時ですが、民間企業であれば決算の時ですね。この一年間何をやったか、何を達成したかが注目される。やはり自治体・行政もそれらが最も問われるべきと考えています。

予算主義の弊害は、予算を取った人が偉くなることです。でも、同じことを達成するのに、お金は少ないほうがいい。企業なら、いくらの上を達成した、あるいはより少ないリソースで開発した、とこれが普通のやり方です。成果主義は予算を取ったら恥ずかしいと思わなくちゃいけない。だから全く思考の大転換です。お手元の資料もそうで、少しずつ工夫しましたが、未だにすることが書いてあって、その結果目指すことが書かれてない。まだ予算主義から脱却してなくて、来年は一期目の4年間で最後の予算ですので、総仕上げでそんな作りにしたいと思っています。

そういう思考の転換を県庁の中でして、私が最終的に予算査定する時は、いっぱい増額します。普通、予算というのは切るものと思われるでしょ。だから多めに要求してくるのですが、私は増やせと言うんです。

例えば、イノベーション人材育成事業、これは経済分野・産業分野における高度な人材を増やしていく政策目的で、人件費として年間200万円、研修費として年間200万円、合計400万円を2年間補助します。最初の担当局の提案に、人件費の補助はありませんでした。予算の規模は2000万、つまり10人ほどが対象の制度でした。でも、広島県の人口や企業の数に対してインパクトがない。優秀な人を研修に出してもらうには、やはり人件費をカバーしないと、また人数は年間50人から80人くらい、10年やれば500人から800人で少しのインパクトはある、と予算枠を私のところで大きく増やしました。財政の再建のためカットする発想になりがちですが、そんな中でもある施策目的を達成しようと思ったら、ちゃんとお金を投入しないと効果が出ない。これが「選択と集中」です。これは企業であれば、自然にされています。ところが行政はどんなに借金を抱えても倒れない。だから効果が出ないものでも残してしまう。「選択と集中」で、重点的にかけるべき分野に思い切っかけています。

それから昨年大変議論になったイノベーション推進機構に対する出資、いわゆるファンド事業で、県が40億円出資、民間が60億円出資し、100億円のファンドから企業に投資する事業ですが、これまで県はベンチャー基金など似たようなことをしてきました。

しかし、規模が小さかった。売上ベースで言うと1000億くらいの成長を作らないと、ということで具体的な集中を進めています。

今最も力を入れているのが、「新たな経済成長」、広島県の経済をもう一回成長させる分野と、すべての基盤になっていく「人づくり」、これらを重点分野として集中的に資源等投下をしている状況です。ということで、平成24年度の予算というよりは、今の予算の考え方を説明させて頂きました。すべての分野にまんべんなく出ていないので、少しご不満もあるかもしれませんが、重点化を図っているということをご理解頂けるとありがたいと思っております。

■出席報告

2012年5月24日(木) 会員数 82名

出席 67名 欠席 15名

来賓 1名

5月10日(木)修正後出席率 98.72%

■来客紹介

湯崎 英彦 様(卓話来賓)

■次回例会 2012年6月7日(木)

卓話:「退任挨拶」

理事役員委員長

食事:中華